

1920年代のハワイと日本人

日本語学校をめぐる裁判と奥村多喜衛先生

自己紹介

原山浩介（はらやまこうすけ） 1972年 長野市生まれ

- ▶ 学生時代：横浜市立大学商学部（社会学）
→京都大学大学院農学研究科（農学原論）
- ▶ 就職後：国立歴史民俗博物館（現代史）→日本大学法学部（社会学）
→京都大学大学院農学研究科（農学原論）
- ▶ 関心領域：社会運動、人の移動（移民を含む）、食と農、、、

どうやら親戚にハワイ移住者がいたらしい。 滝沢わしろう、多分長野県須坂出身



日本人ファースト

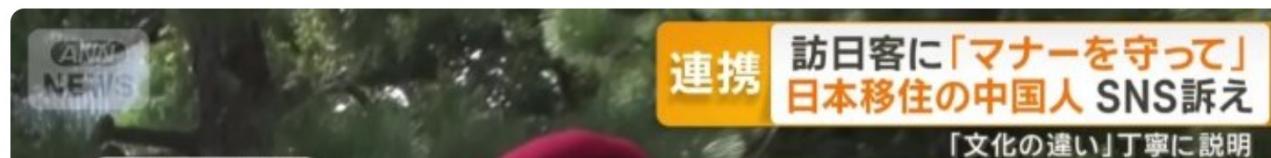
移民政策の抜本的見直し

消費税ゼロへ

日本移住の中国人がSNSで訴え 訪日客に「マナーを守って」文化の違い説明

中国の大型連休で多くの中国人が日本を訪れるなか、日本ならではのマナーや習慣を伝える動画が注目されています。

SNSで「日本でのマナー」訴え



https://news.tv-asahi.co.jp/news_society/articles/900175141.html



A refurbished JR West 683-4000 series EMU on a Thunderbird limited express service near Yamazaki Station by DMX123ZA under CC BY 2.5

Japanese School established by Takie Okumura, 1896

The first Japanese school in Honolulu, located at the corner of Nu'uuanu and Beretania Streets. Its initial enrollment was about 30 students. In addition to Japanese language instruction, the school also offered moral and physical education. The founder, Reverend Takie Okumura, wearing a kimono, is seen at the back left.

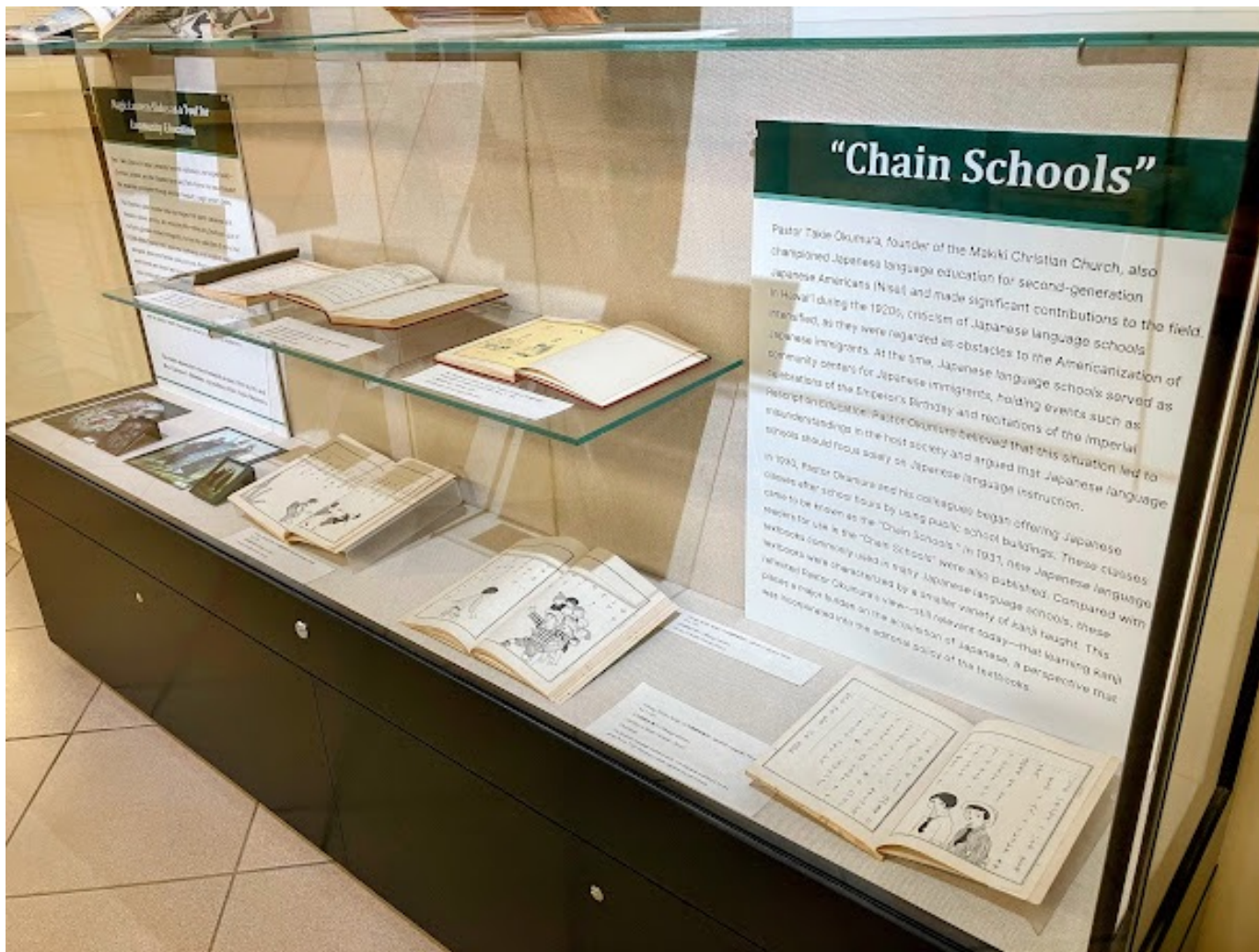


Reproduced with permission from the Bishop Museum Archives.

Rise and Fall of Languages in “Paradise”

UH Mānoa Hamilton Library

～3月末まで



"Chain Schools"

Pastor Tadao Okumura, founder of the Makiki Christian Church, also championed Japanese language education for second-generation Japanese Americans (Nisei) and made significant contributions to the field. In Hawaii during the 1920s, criticism of Japanese language schools intensified, as they were regarded as obstacles to the Americanization of Japanese immigrants. At the time, Japanese language schools served as community centers for Japanese immigrants, holding events such as celebrations of the Emperor's Birthday and recitations of the Imperial Rescript on Education. Pastor Okumura believed that this situation led to misunderstandings in the host society and argued that Japanese language schools should focus solely on Japanese language instruction.

In 1943, Pastor Okumura and his colleagues began offering Japanese classes after school hours by using public school buildings. These classes came to be known as the "Chain Schools." In 1931, new Japanese language textbooks for use in the "Chain Schools" were also published. Compared with textbooks commonly used in early Japanese language schools, these textbooks were characterized by a simpler variety of kanji taught. This reflected Pastor Okumura's view—still relevant today—that learning kanji plays a major factor in the acquisition of Japanese, a perspective that was incorporated into the editorial policy of the textbooks.

1920年代のハワイにおける外国人学校への規制を考える

- ▶ 日本人のハワイへの定着過程を考える上での大きな事件「日本語学校裁判」を考える。
- ▶ 「同化」という問題。権力者に強要される「同化」と、生存戦略としての「同化」を考える。
 - ▶ ヨーロッパにおける「移民疲れ」、トランプ政権下で目立つ取締り。
 - ▶ 日本における欧米の排除の模倣→ 「同化」とはどのようなことなのかを正面から考える必要がある。
- ▶ **「私たちは労働力を呼んだが、来たのは人間だった」**
マックス・フリッシュユ

Papa Hana-hana House Oran

- ▶ 19世紀末のハワイで困惑／心配する大人たち
→日本人学校設立へ
- ▶ 当初は日本語だけではなく、日本の歴史、地理、そろばんなども教える。→次第にAfter Schoolへ。
- ▶ 日本語学校にはコミュニティセンターとしての機能もあった。

1920年 プランテーションのストライキ 後の反日運動

- ▶ 1920年2月1日、砂糖農園の日本人労働者がストライキを決行（1月からストライキを続けていたフィリピン人労働者と連携）
- ▶ 7月1日 ストライキ終結（成果は乏しい）
 - 準州政府、「ビッグファイブ」は日本人を脅威とみなし、日本人がハワイ乗っ取るとの陰謀論。
 - 寺、日本語学校が日本人コミュニティの拠点と映る。

1919年、元準州上院議員 Albert F. Judd、外国語学校への統制強化運動

WW1における愛国心の高揚、日本人労働者によるストライキへの懸念

1920年 「外国語学校統制法」の制定（学校の運営時間に制限など規制の強化）

1922年 外国語学校の幼稚園および1・2年生のクラスを廃止が義務付けられる

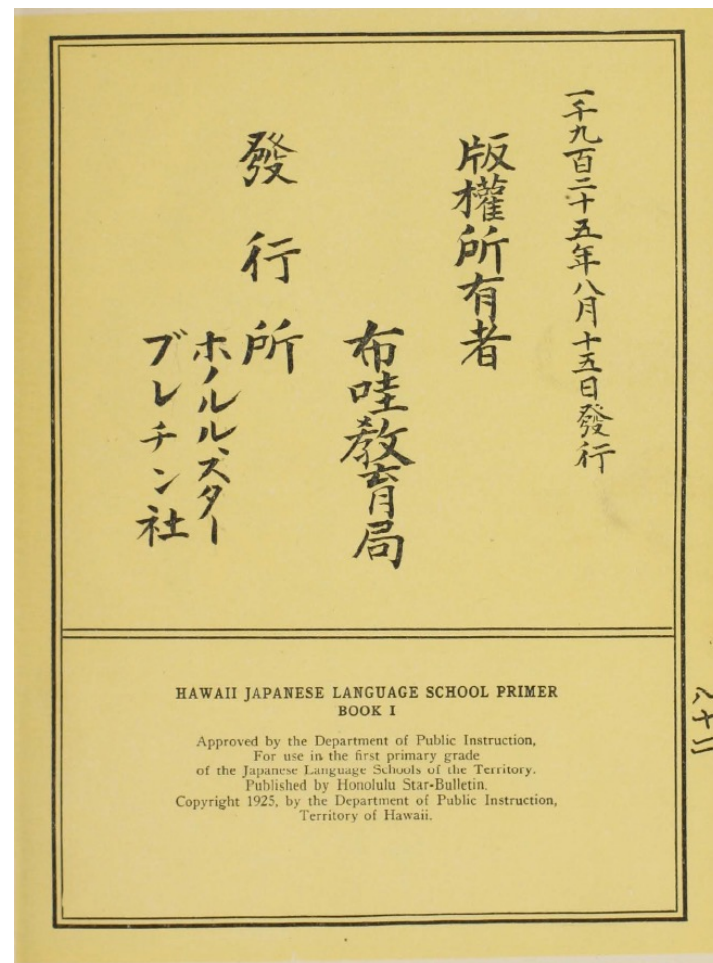
- ▶ 1923年 日本語学校の一部が外交人学校規制法が違憲であるとの提訴

→1927年に違憲判決

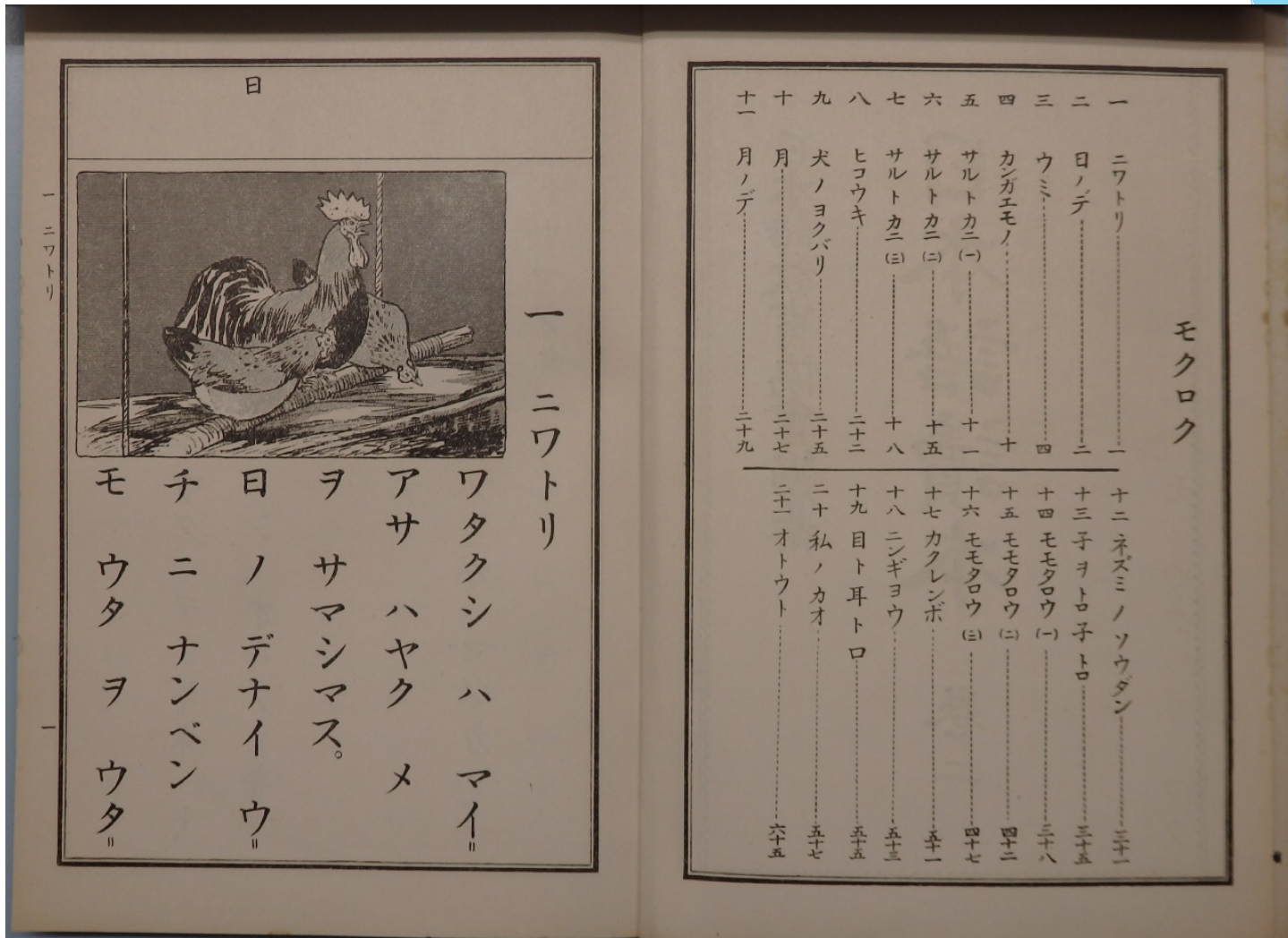
- ▶ 別の日本人グループは米国への同化を目的に、公立教育省との協調を図ろうとした。

日本語新聞はこの対立を反映し、『布哇報知』は訴訟を支持したのに対し、『日布時事』は反対した。

奥村多喜衛・・・裁判には反対の立場。1930年9月に、公立学校で日本語を教える「チェーンスクール」をスタートさせる。



日本語初歩 卷一 布哇教育局 1925年
 ハワイ大学マノア校図書館蔵



報時
THE HAWAIIAN
NO. 4
MAY 1932

The Paradise Times

Printed at the Press Office at Honolulu, Hawaii
Under the act of March 3, 1907

第九十二號 報時 第九十二號

柴園時報

チェインスクール

チェインスクールの理由
チェインスクールの目的
チェインスクールの特色
チェインスクールの利益
チェインスクールの方法
チェインスクールの歴史
チェインスクールの将来

第七回日系市民

會議プログラム

第一 開会
第二 報告
第三 演説
第四 討論
第五 閉会

時務小言

時務小言の意義
時務小言の目的
時務小言の特色
時務小言の利益
時務小言の方法
時務小言の歴史
時務小言の将来

新聞

新聞の意義
新聞の目的
新聞の特色
新聞の利益
新聞の方法
新聞の歴史
新聞の将来

新聞

新聞の意義
新聞の目的
新聞の特色
新聞の利益
新聞の方法
新聞の歴史
新聞の将来

新聞

新聞の意義
新聞の目的
新聞の特色
新聞の利益
新聞の方法
新聞の歴史
新聞の将来

新聞

新聞の意義
新聞の目的
新聞の特色
新聞の利益
新聞の方法
新聞の歴史
新聞の将来

新聞

新聞の意義
新聞の目的
新聞の特色
新聞の利益
新聞の方法
新聞の歴史
新聞の将来

The Sumitomo Bank of Hawaii Sole Agents 1001 Broadway Phone 2222	PACIFIC BANK 1001 Broadway Phone 2222	布哇住友銀行 電話三三〇三	水寫真館 各種寫真 洗印 放大 各種洗印 各種放大	森重書局 各種書籍 文具 各種文具	木谷齒科 各種牙科 鑲牙 拔牙	田屋治久馬 各種藥品 醫療器具	リノルン 各種藥品 醫療器具
--	--	-------------------------	---	-----------------------------------	---------------------------------	------------------------------	-----------------------------

楽園時報 1922年12月

本年第三回日系市民会議を開いた時、前知事ファーリントン氏は一場の演説をなし、「日本語学校の存在している間はハワイ生の日本人青年の米化は得て望まれない。もちろん日本語を教えることは差し支えないが、それは公立学校でやるべきである」との意味のことを述べた。余輩は公立学校で日本語を教えるということには賛成であるので、本誌8月号に書簡を記述したところが、同月20日発行の布哇報知には

日本語学校撲滅共鳴論注意と警戒を要す

奥村牧師日本人側から自発的に日本語学校を公立学校に併合してもらうようなことが何らかの方法でできぬであろうかと論ず

との見出しにて余輩の所論を掲げて、「日本語学校撲滅論はスターブレチンを中心として何時かは大々の運動の開始となるものとみねばならぬ。在留同胞はすべからく注意警戒を要すべく軽々に看過すべからざる重大問題である」と論じ、なおまた「奥村牧師らの説くところは教育の自由権を自ら放棄せんとする暴論」云々といっている。

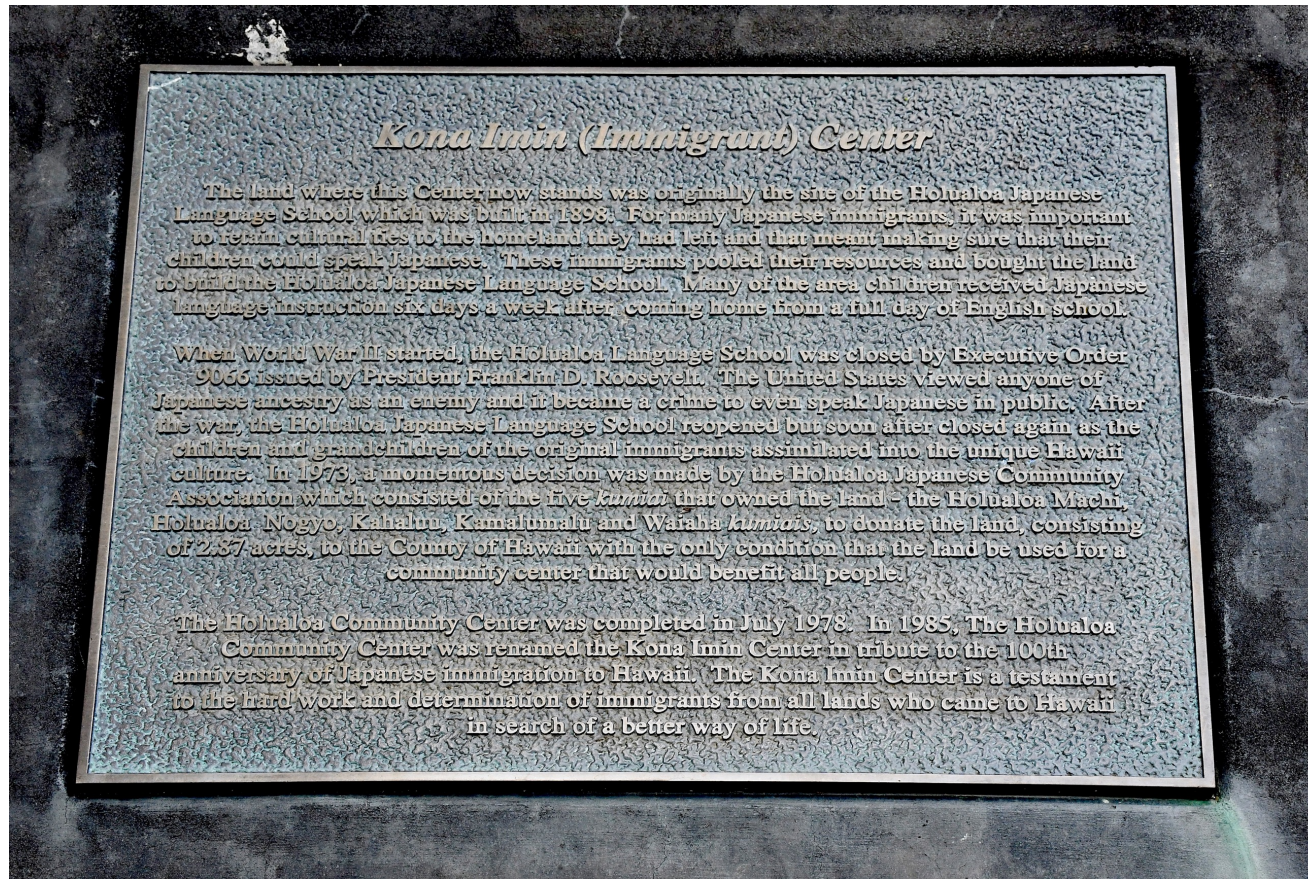
楽園時報 1922年12月（その2）

ファーリントン氏が日本語学校の存在している間はハワイ生まれ青年の米化は得て望まれないというのは、無論日本語学校を誤解しているからである。日本語学校は日本語を教えるも日本主義の教育を施すのではないということが、はっきりとわからぬからである。しかしながら我らまた顧みて日本語学校の側に、米人をしてかかる誤解を起こさしむる事実がありはせぬかを考えねばならぬ。□地に行って見るとホノルルとはちがい、日本語学校が地方日本人の会合場所□らコミュニティセンターとなっている。自分等の金でこしらえて自分等の自由に使えるのは日本語学校の外にない。ゆえに相談事があれば日本学校でなし、祝祭には日本学校に集まる。天長節などには陛下のお写真を書け、君が代を歌い、万歳を唱える。（・・・）されば外人の眼に映る日本語学校がファーリントン氏の如き誤解を抱かしむるのは決して無理でない。



川村清志（国立歴史民俗博物館）撮影

Kona Imin Center コナ移民センター



川村清志（国立歴史民俗博物館）撮影

Kona Imin (Immigrant) Center

The land where this Center now stands was originally the site of the Holualoa Japanese Language School which was built in 1898. [For many Japanese immigrants, it was important to retain cultural ties to the homeland they had left and that meant making sure that their children could speak Japanese.](#) These immigrants pooled their resources and bought the land to build the Holualoa Japanese Language School. Many of the area children received Japanese language instruction six days a week after coming home from a full day of English school.

[When World War II started, the Holualoa Language School was closed by Executive Order 9066 issued by President Franklin D. Roosevelt.](#) The United States viewed anyone of Japanese ancestry as an enemy and it became a crime even to speak Japanese in public. [After the war, the Holualoa Japanese Language School reopened but soon after closed again as the children and grandchildren of the original immigrants assimilated into the unique Hawaii culture.](#) In 1973, a momentous decision was made by the Holualoa Japanese Community Association which consisted of the five kumiai that owned the land; the Holualoa Maucai, Holualoa Nogyo, Kahaluu, Kamalumalu and Waiāha kumiais, to donate the land, consisting of 2.87 acres, to the County of Hawaii with the only condition that the land be used for a community center that would benefit all people.

The Holualoa Community Center was completed in July 1978. In 1985, The Holualoa Community Center was renamed the Kona Imin Center in tribute to the 100th anniversary of Japanese immigration to Hawaii. The Kona Imin Center is a testament to the hard work and determination of immigrants from all lands who came to Hawaii in search of a better way of life.

楽園時報 1933年6月

アメリカ公立学校における教育の根本方針は米化教育である。 各人種を寄れ合せてその子供らは憲法の規定に遵うて米国民となるので之を善くないわゆる百パーセントの米国民に仕立て上げるには、徹底的に米化教育を施す必要がある。例えば大きな**パツグ**のなかにたくさんの小石をいっぱい詰め込み口を締めて置けば、一見大きな塊の如く見えるが、もし袋に少しでもほころびができれば、小石はぞろぞろと漏れ出で結果**収拾**することのできないようになる恐れがある。

ゆえに小石を打ち砕きこれにセメントを混ぜて、うってもたたいてもこわれないうものにしようというのが米化教育の主意方針であると思われる。米国の事情から言えば当然の仕方である。我々の子どもも生まれながらにして米国民たる特権を付与され、これに伴うすべての便益を享有している以上は、全然米化教育に従わしむるのが、米国に対する当然の礼儀である。もとより我々の子どもに日本語を教ゆることはなんの差支えもない。のみならず日米人相接触するこの地に生まれ、日米人融和結合の口となるべき使命を負されたる同朋二世が、英語に達し日本語を解し、東西文明の融合に資することは、単に自己の利益だけでなく、アメリカに貢献すること多大であると信ずる。

楽園時報 1933年6月（その2）

近頃は「ハワイの人々は自治を希望するが、□□日本学校が今のような風にて存在している間は到底実現の望みはない」とのことを露骨に聞かされるのである。

思うにこれはハワイの将来を慮る米人愛国者の齊しく考えているところであろう。ただファーリントン氏の如く露骨に言わないだけのことである。

以上表に言い表されたものを総合して考えても、アメリカ人が日系市民の将来に関しいかに心配と疑惑を抱いているかが察知されるのである。而してその誤解疑惑をもたしむる要因となっているのは、二重国籍問題の他には日本語学校問題であることが明らかにわかる。ゆえに我らが国籍離脱の促進を図るとともに、日本学校問題の解決をはからんと決心し事に当たったのが、そもそもチェインスクールを設くる根本の理由である。

楽園時報 1933年6月（その3）

誰が言い出したものか。一部の人々は我々の日本語教育協会所属の諸学校をチェーンスクールと読んでいる。すこぶる適応した名称であるのでそのまま感受している。教育協会の経営する学校は現に9校ある。

午後各生徒におよそ一時間宛日本語を教授するのほか、すべて公立学校の教育方針に従い、別個の日本語学校と言うよりは、事実公立学校□□□□□□□□□□全然米化教育の一機関となりたい希望を持って経営している。故に他の日本語学校の如く土曜日には教授しない。他が天長節を祝い運動会など催すが、我らはワシントン祭に祝賀運動会を催し、昨年は県書記官ブラウン氏の演説あり、本年は県知事ジャッド氏来て一場の□□演説を試みられた。

おわりに (キレイな結論はないけれど)

- ▶ 「同化」は、それを突きつけられる立場から見ると「暴力」である。
- ▶ 生き延びるためには「同化」を図る必要がある。



この両曲を攪乱するものとして・・・

- ▶ 同じエスニックグループの中での格差や立場の違い

「いま」に目を転ずると、、、

- ▶ シュリンクする「他者への理解」、ちゃんとした大人は言わなかったことが堂々と表現されてしまう状態
- ▶ (日本流に言えば)「多文化共生」が揺さぶられる中で、ハワイの経験から何を学び、ハワイの流儀をどう守るのか？